

「美炎・馬頭琴の調べ」10回記念

ドキュメンタリー映像

「里守人と馬頭琴」(仮題)

制作プロジェクト応援のお願い

秋の実りを収穫した山奥の美しい棚田に

年に一度、響き渡る馬頭琴の調べ。

その音色は、集う人々、虫や鳥、木々や草花、

光や風と一体となり、喜びに溢れるひとときとなります。

この稀にみる音楽会を催しているのは、

栃木県那珂川町梅平地区に暮らす人々。

彼らの四季を通じた暮らしと守り続けてきた里山、

そこで毎年開催される音楽会の様子を

ドキュメンタリー映像にするべく、

プロジェクトが立ち上りました。





音楽会を催している人

ヒロクラフト 廣田充伸・美千香

「自然豊かな所で子育てしたい」と思い、2005年に私達が飛び込んだのは、よそ者を暖かく迎え入れてくれる人達が住む梅平地区でした。お隣に住んでいたのが、山の棚田で一人で米作りをしているシゲルさん。一見不便な棚田を「守っている」というよりは、鳥や虫達の舞う自然豊かな空間での米作りを心から楽しんでいて、そこはすぐに私達家族にとってもお気に入りの場所となりました。2011年、縁が繋がり訪ねてくれた馬頭琴奏者・美炎さんが、この棚田での音の響きを気に入ってくれた事から、米の収穫を終えた山の棚田は年に一度、その日限りの稀有な「音楽ホール」になりました。ここに集い畔に腰を下ろした人々は馬頭琴の生の豊かな音色を楽しみ、周囲の自然是毎回のように奇跡的な「演出」を見せてくれます。このコンサートは梅平・里守人(※)を中心とした地域の人々が、日々の暮らしの延長で、持てるスキルとモノを活用し、いつものもてなしのココロで支えてくれています。里守人が田や畑を耕し、草を刈り、作り上げてきた風景の中に、これまで縁の無かった方々が訪れ様々な感想を伝えて下さる事や、演奏者はもちろん遠方から駆けつけてくれる助っ人隊との交流が、毎年開催の原動力になっています。そんな中、コンサートを巡るこの地域の姿が、纈纈さんと石井さんによる映像作品となる事は奇跡のような出来事であり、これから地域の未来を支えるチカラのひとつになると確信しています。山の棚田と美炎さんの馬頭琴から繋がった新たな「奇跡」の実現に、どうか力を貸し下さい。

※梅平・里守人（うめだいら・さともりびと）

那珂川町小口・梅平地区の自然に寄り添う里の暮らしを、
楽しみ・慈しみ・守り・伝え生きている人々

音楽会で演奏している人

馬頭琴奏者 美炎

棚田の中央に宇宙船のように浮かんでいるその島にはネムノキが一本たっている。はじめてそこで馬頭琴を演奏した時は、ネムノキはまだ小さくて、上着を上からちょっとかけるのにちょうど良かった。それが稻刈り後に開かれるコンサートも9回目になると大きく仰ぎ見て、ネムノキの葉が優しく揺れるのを見ながらその木陰に佇む。その上で弾いていると弾いているその弓にてんとう虫が止まったり、蜜蜂達が盛んに飛び交うので不思議に思っていたら、座っていた丸太の後ろに巣があったり、目の前のフレモコウが揺れたり、赤とんぼが音に合わせて渦を巻いたり、山の奥から風に乗って沢山の綿毛が舞い飛んで来たり、山の谷底に拡がる棚田の空間の空は山に囲まれて小さいが、そこに集った人たちだけの空で、音楽と一緒に風は歌い、木々が揺れ、光がかわるがわる差し込み、雲が流れ、カエルが鳴き、鳥がさえずり、小川の水音がこだまして、秋のこのひと時、人も命も音楽も一つになる。この奇跡的な瞬間を、棚田コンサートで経験した人も、来られない人も、見てほしい。感じてほしい。生の音楽がこんなに沢山の命の中で祝福される瞬間を。そしてこの棚田の世界を守り、伝えていく人の里山での日々の営みを。映画監督である纏纈あやさんと、カメラの石井和彦さんは細やかな視点でそれらの世界を写し、繋いでくれる素晴らしい映画人です。沢山の方の応援があれば、より多くの取材が可能になります。映像作品を完成する為に皆様の応援をよろしくお願ひします。





音楽会に参加し 映像にしたいと思った人

映画監督 繁纈あや
はなぶさ

友人から「一度絶対に行ってみて！」と勧められて参加したのが、2017年の第7回「美炎・馬頭琴の調べ」でした。当日は今にも雨が落ちてきそうな空の下、木立ちの中を歩くこと数分。眼下に現れたのは、山間に連なるきれいに刈り取られた棚田の真ん中に、ぽっかり浮かぶ小島のようなステージでした。集った人々は、思い思いの場所でレインコートを着込んだり傘を差しながら、じっと耳を澄まします。谷間に響き渡る馬頭琴の音色と天から降り注ぐ雨。土も石も、木々や草花、野の生きものも人間も、すべてが濡れ、音に共鳴し、この時、この場のすべてが“音楽会”となっていく。わたしもその一部、という感覚。得も言われぬ幸福な時間でした。普段は人の目に触れないこの地を自然のホールに見立てた演出も、内なる自然をも呼び覚ますような演奏も、にこやかに甲斐甲斐しく働くボランティアの方々の姿も、美しく光り輝き、その光景は静かに、でも鮮烈に私の心に焼きついたのでした。その後、再会した美炎さんが言いました。「この奇跡的なコンサートができるのは、ここにはすべてが揃っているから。梅平地区の人たちとこの里山の様子を映像に残せないかと思っています。」その言葉を聴いて、わたしは即座に手を挙げたのでした。この音楽会のように、映像制作もぜひ多くの方とご一緒に、手作りしていけたらと思っています。どうかみなさまの力を貸しください！

ヒロクラフト <http://hirocraft.com/>

美炎 <http://miho-batokin.com/>

やしほ映画社・繩纈あや <http://yashihofilms.com/>



プロジェクトについて

● 目的

ドキュメンタリー映像「里守人と馬頭琴」(仮題)の制作

● 作品内容

栃木県の県北に位置する那須郡那珂川町梅平地区の人々の四季を通じた暮らしを追いながら、2020年に10回目を迎える「美炎・馬頭琴の調べ」が行われる様子までを描きます。自然と人と音楽が織り成す類稀なる音楽会が、なぜこの地で行われてきたのかを、彼らの日常の様子や言葉から紐解いていきます。

HD／カラー／60分程度

● 制作者

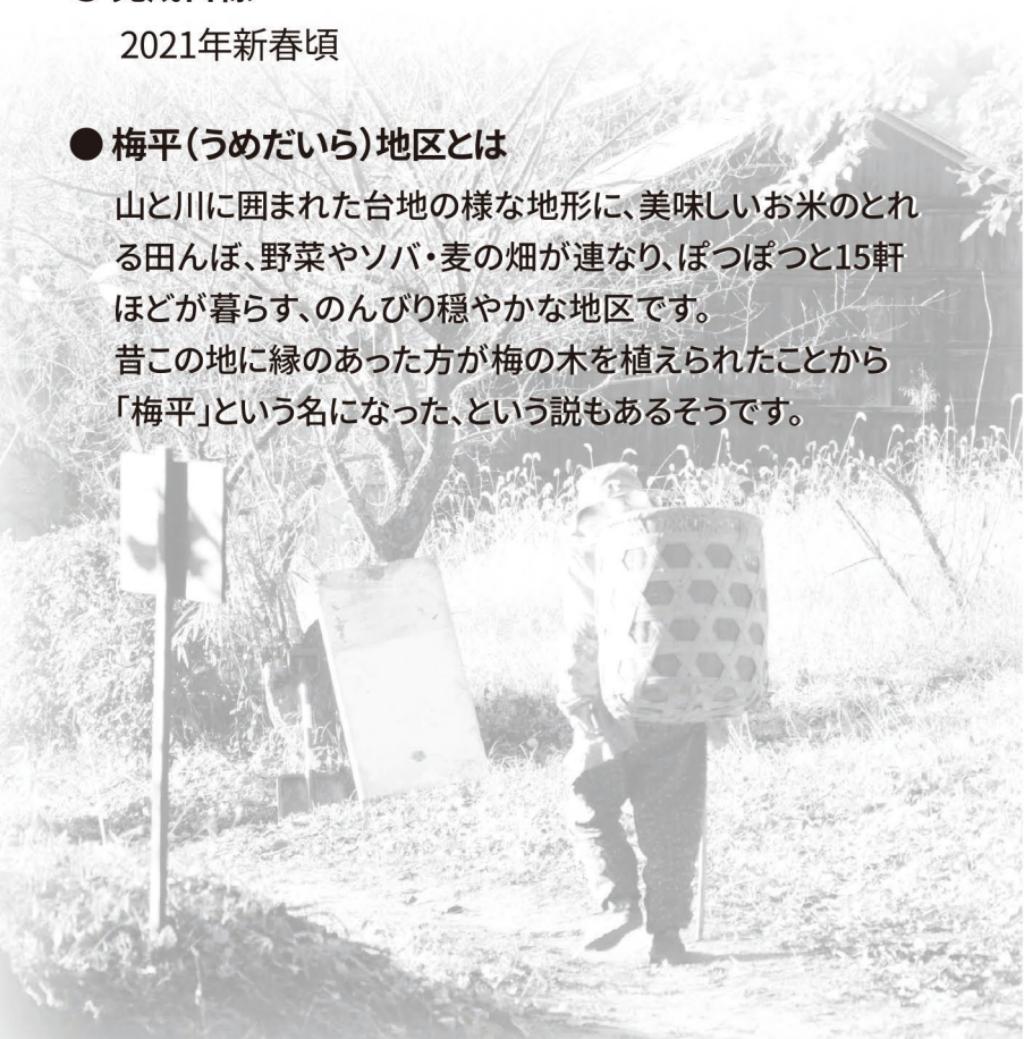
監督: 繁瀬あや 撮影: 石井和彦 製作: やしほ映画社
(その他は今後の資金調達に合わせて決めていきます。)
※完成したものはDVDにして販売する予定です。
(予価3,000円～4,000円)

● 完成目標

2021年新春頃

● 梅平(うめだいら)地区とは

山と川に囲まれた台地の様な地形に、美味しいお米のとれる田んぼ、野菜やソバ・麦の畠が連なり、ぽつぽつと15軒ほどが暮らす、のんびり穏やかな地区です。
昔この地に縁のあった方が梅の木を植えられたことから「梅平」という名になった、という説もあるそうです。





製作協力金のお願い

梅平地区の人々や音楽会、この里山の風景に想いのある有志によってプロジェクトが結成されました。ぜひ製作にご協力をお願い致します!



① 一口 3,000円

- ・エンドクレジットへのお名前掲載

② 一口 5,000円

- ・エンドクレジットへのお名前掲載
- ・ドキュメンタリー映像「里守人と馬頭琴」(仮題) DVDの贈呈

③ 一口 10,000円

- ・エンドクレジットへのお名前掲載
- ・ドキュメンタリー「里守人と馬頭琴」(仮題) DVDの贈呈
- ・梅平のお米2kgの贈呈

● 振込先：郵便振込口座

00100-3-768242 株式会社やしほ映画社

*何口からでもお申込みいただけます。

*法人名でもお申込みいただけます。

*エンドクレジットへの記載を希望されない方は、ご入金の際に
お知らせ下さい。

*ご入金いただいた方には、お手紙と領収書をメールで送らせて
いただきます。

(メールをお使いにならない方は、郵送致しますのでお知らせください)

● お問合せ先

ドキュメンタリー映像「里守人と馬頭琴」(仮題) 制作プロジェクト事務局
〒184-0002 東京都小金井市梶野町1-3-17-105 (やしほ映画社内)
TEL: 0422-38-6424 FAX: 0422-38-6425
Email: satomoribito@yashihofilms.com